

2018 年度事業計画書

「基本方針」

みんなの笑顔を追求したまちづくり

(重点活動項目)

- 一、 次の未来へ向けた取り組み
- 一、 実行力のある組織づくり
- 一、 中国地区コンファレンスの成功
- 一、 鳥取ブロックへの全面支援

※『環光のまち因幡』推進運動とは

因幡の豊かな自然環境と因幡の特徴を活かした環境保全活動を観光資源として活用し、多くの人と共に「環境」と「経済」が好循環するまちを創る運動

●因幡のグリーン政策の取り組み

[目指すもの]

因幡の宝である自然を後世へ繋げる運動が必要。
市民の保全意識を向上するわくわくする事業の展開を目指す。

●究極の田舎政策の取り組み

[目指すもの]

他地域の魅力とコラボレーションすることでキラリと光る因幡オリジナルを創出する運動が必要。
各地域のオピニオンリーダーと「因幡に住みたいっ!!」と思わせる知恵を出し合う。

●新生鳥取砂丘の取り組み

[目指すもの]

鳥取砂丘を含む山陰海岸ジオパークを新たな視点で捉え継続的な経済効果へ繋げる運動が必要。
将来を見据え、インバウンドも視野に入れたスポーツツーリズムの創出を目指す。

●地域コミュニティ推進への取り組み

[目指すもの]

地域の様々な問題を解決するためには住民同士の繋がりが希薄になりつつある現状を変える必要。
様々な課題に対処出来る住みよいまちを目指す。

●青少年育成の取り組み

[目指すもの]

未来を担う子供たちへ向けた青少年育成も行ない、郷土愛と自主性を備えたリーダーを継続的に創出する運動の展開を目指す。

●社会参画推進への取り組み

[目指すもの]

2016年参議院選挙では鳥取県の投票率が過去最低となり、関心の薄れが如実に現れた。国を支える主権者意識を取り戻す運動が必要。

危機的状況ともいえる主権者意識の低下に対するアクションを目指す。

●国際交流の取り組み

[目指すもの]

因幡地域での国際交流親善・国際協力の推進を目指す。

「平成30年度事業方針」

基本方針に基づき、下記の具体的な活動を推進する。

| 委員会名 | 内容 |
|------------------|---------------------|
| 総務渉外委員会 | 新年祝賀会 |
| 60周年準備特別委員会 | 創立60周年記念大会の準備 |
| 中国地区コンファレンス実行委員会 | 中国地区コンファレンスの運営統括 |
| 拡大広報推進委員会 | 会員拡大 |
| | JC魅力を伝える広報活動 |
| 会員開発委員会 | 定例会の運営 |
| | 卒業式 |
| | 研修会員の研修会実施 |
| | 3分間スピーチの運営 |
| 社会参画委員会 | 青少年の主権者意識向上 |
| | 若草学園施設交流会の実施 |
| 国際交流委員会 | 国際的理解及び親善に向けた取り組み |
| 地域コミュニティ推進委員会 | 日本一住みよいまちを目指した運動の継続 |
| 因幡の魅力発信委員会 | 3政策の集大成に向けた取り組み |

「事業実施内容」

【公益事業】

公益事業① 地域住民の集まる場を作り、地域コミュニティを活性化させる事業。

・地域住民の相互交流の機会を作ることでコミュニティ形成・活性化を行う。(地域コミュニティ推進委員会)

公益事業② 地域の人々と共に子どもたちの成長へ繋げ、郷土愛と自主性を備えたリーダーを継続的に創出する仕組みを確立する事業。

・青少年に対し、因幡地域の未来を考える主権者としての参画意識を醸成する事業。(社会参画委員会)
・若草学園施設交流日頃経験することのできない遊びを体験してもらうことで、園児達に心から感動するような、喜びや楽しみを感じていただく事業。(社会参画委員会)

公益事業③ 因幡の豊かな自然環境とその特徴を観光資源として活用し、多くの人と共に「環境」と「経済」が好循環するまちを創る事業。

・因幡オリジナルを求め、多くの人が集まるまちへ発展を加速させ、「環光のまち因幡」推進運動を認識し、これから描く次の未来の創造へと繋げる事業。(因幡の魅力発信委員)
・中国地区内の魅力を発信し交流をもってつながりを築き、研鑽しあうことで因幡地域にさらなる活力を与える事業。(中国地区コンファレンス実行委員会)

公益事業④ 地域の人々に国際的理解及び親善に向けた意識向上を図る事業。

・因幡市民の国際的相互理解と親善に向けた意識を高め、因幡地域における国際交流の在り方やその重要性を認識する事業。(国際交流委員会)